放射線医学講座 研修プログラム

1. 当科の特徴

当科には放射線診断専門医が 8 名、放射線治療専門医が 3 名、日本 IVR 学会専門医が 5 名、日本核医学専門医が 1 名、マンモグラフィー読影認定医が 5 名 在籍しており、多種多様な指導体制が整っています。また、胸部・腹部ステントグラフト指導医が 2 名在籍しており、放射線科でステントグラフト内挿術が施行可能です。設備として、64 列 IVR-CT システム、ハイブリッド OR システム、320 列 CT、3T MRI、Tomotherapy などを導入しており、画像診断、画像下治療(IVR)、放射線治療などの最先端医療を経験することが可能です。また、連携している南和歌山医療センター、岸和田徳洲会病院、耳原総合病院、和歌山ろうさい病院、阪南市民病院、橋本市民病院、府中病院、公立那賀病院、和歌山南放射線科クリニック和歌山 PET 画像センターなどの施設も、日本医学放射線学会の専門医修練機関や特殊修練機関に認定されており、これらの施設での研修で専門医の習得が可能です。

卒後１，２年目の臨床研修（初期研修）修了後、３年目から８年目までは原則、新専門医制度に準拠した「和歌山県立医科大学放射線科専門研修プログラム」に従って研修に従事してもらいます。6 年目に基本領域の放射線科専門医を取得していただき、その後は放射線診断専門医、放射線治療専門医を目指して自分の専門分野に沿った研修を続けてもらいます。8 年目に自分の専門分野の専門医（診断専門医もしくは治療専門医）の取得を目指します。

2. ローテーション例

<table>
<tr><td>1 年目</td><td>2 年目</td><td>3 年目</td><td>4 年目</td><td>5 年目</td><td>6 年目</td><td>7 年目</td><td>8 年目</td></tr>
<tr><td colspan="2">初期研修</td><td colspan="2">学内研修</td><td colspan="2">連携施設など</td><td colspan="2">学内研修　（国内留学可能）</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>入局</td><td></td><td></td><td>放射線科専門医試験</td><td></td><td>放射線診断専門医試験
もしくは
放射線治療専門医試験</td></tr>
</table>

3 年目から 8 年目までは原則当科指定のプログラムのローテーションに従って研修を行います。3-4 年目は和歌山県立医科大学附属病院で研修を行います。5-6 年目は専門医修練施設で研修し、**6 年目に基本領域専門医取得**を目指します。7 年目以降は大学に戻って、研究や高度な医療に従事し、希望があれば国内留学も可能です。和歌山県立医科大学附属病院で後輩の指導を行いながら、臨床研究や臨床医療に従事し、**8 年目に自分の専門分野の専門医（診断専門医もしくは治療専門医）の取得**を目指します。希望者は大学院に入学し、学位の取得を目指します。

地域医療枠の先生は僻地医療連携拠点病院での研修が必要ですので、年数が変わります。詳細は医局に問い合わせてください。

3. 放射線科研修プログラムの修練施設

研修施設	放射線診断専門医	放射線治療専門医	IVR 専門医
和歌山県立医科大学附属病院	8 名	3 名	5 名
南和歌山医療センター	1 名	1 名	
岸和田徳洲会病院	2 名		1 名
耳原総合病院	1 名		1 名
和歌山ろうさい病院	1 名		
阪南市民病院	1 名		1 名
橋本市民病院	1 名		1 名
府中病院	3 名		1 名
公立那賀病院	1 名	1 名	1 名
和歌山南放射線クリニック 和歌山 PET 画像診断センター	2 名		

4. 教授からのメッセージ

教授　園村 哲郎

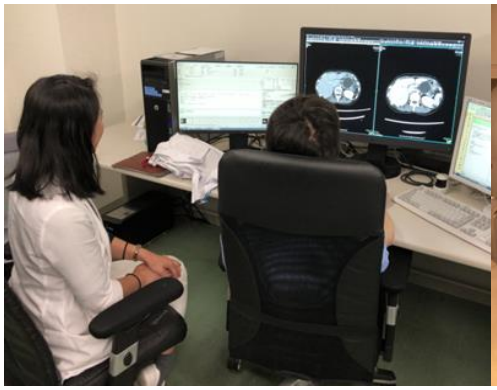
当院の放射線診療は、画像診断、画像下治療(IVR)、放射線治療の３つの柱から成り立っています。これら３つを幅広く勉強し、臨床に役立つ知識や技術を身に付けて下さい。研修を通して自分が興味あることや自分がやりたいことを見つけて下さい。また、視野を広げるためにカンファレンスや学会に積極的に参加し、世界で活躍するために英語力のレベルアップをお願いします。希望者には、１年間の国内留学や海外留学を認めています。

画像診断では、X 線単純撮影、CT、MRI などのレポート作成を行い、放射線診断専門医のチェックを受けて下さい。電子カルテで必要な臨床情報を確認し、検査目的を十分に理解した上で読影して下さい。

画像下治療(IVR)では、肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓術(TACE)、活動性出血に対する動脈塞栓術、胃静脈瘤や肝性脳症に対するバルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術(BRTO)、大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術(EVAR/TEVAR)、CV ポート留置術、膿瘍に対する経皮的ドレナージ術などを行っています。これらの治療を実際に体験し、カテ－テルやガイドワイヤーなどの操作手技を習得して下さい。

放射線治療では、リニアックを用いた肺癌、乳癌、骨転移の治療、トモセラピーを用いた頭頚部癌、脳腫瘍の強度変調放射線治療(IMRT)、イリジウム線源を用いた前立腺癌、子宮頚癌の組織内/腔内照射などを行っています。実際の治療を見学し、放射線治療専門医の指導のもと治療計画を立てて下さい。

放射線診療に興味のある方はぜひ当科のプログラムに参加して下さい。



画像診断

画像下治療(IVR)

放射線治療(Tomotherapy)